

## トモネット英語塾 週刊英語レポート講座



**Don't worry about failure.**

**Worry about the chances you miss when you don't even try.**

(大学に用があったので、帰り際に馬小屋に寄って行きました。近々、乗馬します 笑)

## 著作権について

『トモネット英語塾、週刊英語レポート講座』（以下、本書と表記）は著作権法で保護されている著作物です。本書の使用に際しましては、以下の点にご注意ください。

1. 本書の著作権は、トモネット英語塾にあります。
2. トモネット英語塾の書面による事前許可なく、本書の一部または全部をあらゆるデータ累積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー等）により複製、流用および転載、転売することを禁じます。

## 使用者許諾誓約書

本契約は、本書を購入した個人・法人（以下、甲と称す）と、トモネット英語塾（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本書を甲が受け取り、パッケージを開封することにより甲はこの契約に同意したことになります。

### **第1条 本契約の目的**

乙が著作権を有する本書に含まれる情報（ノウハウ等）を 本契約に基づき甲が独占的に使用する権利を有するものです。

### **第2条 禁止事項**

本書に含まれる情報は、著作権によって保護されています。甲は本書から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・公演活動および電子メディアによる配信により一般公開することを禁じます。特に第三者に渡すことを厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織（販売店・代理店等）においてのみ本書に含まれる情報を使用できるものとします。

### **第3条 契約の解除**

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合は、乙は使用許諾契約書を解除できるものとします。

#### **第4条 損害賠償**

甲が本契約の第2条に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、その違約金として、違反件数と販売価格を乗じたものの15倍の金額を支払うものとします。

#### **第5条 責任の範囲**

本書の情報の使用責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても、乙は一切の責任を負いません。

「トモネット英語塾、週刊英語レポート」

著者(著作権者): 中西 智裕

## ■ はじめに

こんにちは、中西です。

何だかいつの間にか梅雨も明けたようで、気がつけば夏到来。

いや一すっかりセミが大合唱してます。

彼らの歌声を聞くだけで一気に体感温度が上がりますよね。ほんと(苦笑)。

週末はもうかれこれ4年くらいの付き合いになる友人がいるんですが、  
彼がサーフショップを立ち上げたということで、さっそく遊びに行ってきました。

豊橋にある伊古部というところですよ。  
5分も歩けば、こんなところに出ます。



豊橋は田舎で正直、海と山だけしかないような街なんですが(笑)、  
まーボクもいつの間にかここに住みついてしまったわけでした...

自然が好きな方であれば、いいところです。  
塾生であれば、いつでも遊びに来て下さいねみたいな(笑)。

いや、本当に機会があれば、遊びに来てもらってもおっけーです。  
夏休みを利用して(笑)。

たまに、スピコンに毎回、参加している塾生がふらっと個人面談で  
立ち寄りますが、まーそんなノリでどうぞ(笑)。

それから、サーフショップを立ち上げた友人というのはこんな人です  
(掲載許可済 笑)。



さすがに、バツと見はちよい悪オヤジですが、サングラスを取ると  
かわいい瞳をしています(笑)

まー容姿はこの際、いいとして、この人、ボクと出会った当初は  
当然といえば、当然ですが、夢はあっても何もまだ形になっては  
いなかったわけです。

で、サーフィンをやっているとやっぱり英語を話す人も多いから  
何とかならねーかい？みたいな感じで4年の月日経ったわけですが、

それが今や

お店が出来て、



英語を話している。

4年間でゼロから見てただけに、さすがにうれしかったです。  
ボクが特に何かをしたわけでもなく、

メルマガを強制的に読んでもらっていただけですが(笑)、

英語に年齢が関係なく、

今を基準に夢が叶うか叶わないかを判断することがいかに  
無意味なことなのかを、思い知ったそんな週末でした。

(今、英語が話せない、今〇〇ができないから〇〇を実現することが  
できないだろうな—考えるということがあまりにも、もったいないということです。)

ボクがずっと言ってきたことは、

**自分の日々の行動パターンを英語化すること。**

ずっと言ってきたのはこれだけです。

補助として、英語学習ダイアリーを使って、

文法、単語、発音などなどを一先ずは全部、後回しにしてまずは、  
ここをひたすら目指した。

- ・ サーフィンで不自由なく英語を話すことができる
- ・ お店にお客さんが来たときに、英語で接客できるようになる。

フォーカスするポイント、英語を話したい理由がかなり具体的に  
はっきりしていたからこそその提案でした。

全ての人がこのパターンで英語を習得するということをオススメするわけではないで  
すが、やはり直接に会って話をするということで、ボクもアドバイスはしやすいです。

だからこそ、特に VIP 塾生は特典にあるスカイプだとか、リアルタイムの  
質問を引き続き、好きなだけくれたらいいのですが(笑)、

今年も後半戦ということで、これからまた1人でも多く、目の前で夢を  
叶えていく仲間が出来ればなーと思う次第です。

日々の行動パターン・・・朝起きた。気分はサイコーだった。コーヒーを飲んだ。  
自分の寝ぼけた顔を見ながら歯を磨いた・・・。

何でもいいのですが、やることは泥臭いです。ただ、今、目に入っている状況を  
英語で表現しようとしているまさにその行為こそが、英会話で使う際の武器、  
筋力になる。

まあ、実際には試す場がないと、正直、  
あまり楽しい作業ではない。

だからこそ、やる人はごく一握りと何とも悲しい現実がありますが、

やる人は英語ゼロからでも、  
4年でここまで形にすることが出来たという1つの実例でした。

それでは、前置きが長くなりましたが、

今日も本題、行ってみよー

繰り返しになりますが、無理をして暗記する必要はないですからね。  
イメージする習慣をどうぞ身に付けてくださいませ。

今日のお題は、

旅(travel / trip / journey / excursion) について、です。

## ■ travel

早速ですが travel は、原則として不可算名詞で、

※ **不可算名詞**というのは、ここでは「何となくイメージしづらいもの」と覚えておいてくれればおっけーです。一方、可算名詞(**a** とか **the** がつくものですね)はイメージがしやすい、目に見えるので、a とか the が付くんだなーとそんな程度の認識で十分です。

air travel

space travel

のように形容詞と一緒に使ったり、

travel agency「旅行会社」

travel express「旅費」

travel books「旅の本」

などのように、名詞の前で(形容詞的に)使われることが多い単語です。

順に説明していきますが、もっとも広い意味(**旅そのものに意味を持たせない、強調しない場合**)の「旅」のイメージとして使われるのが、travel になります。

※ この部分は今はまだピンとこないと思うので、繰り返し読んでみてください。



二回目に読んだら分かります。

またこれは覚えなくてもいいですが、

ごくまれーに変化球として travels というような形で  
複数形になっているときがありますが、

これは、海外旅行など**旅行記**(Gulliver's Travels: ガリバー旅行記)  
の意味では、例外的に travels と複数形で表されます。

## ■ trip

trip はたとえば、

sightseeing trip

honeymoon trip

(ハネムーンはハネムーン トリップの略)

business trip

など、「特別な目的」のための比較的、短期間の間に行って帰って来る旅行や  
仕事のための外出や短い距離の移動を表します。

それから、また機会があれば説明しますが、

take a trip は take の持つニュアンス  
(自分から自分の方に引き寄せる)から、

「**休暇**などで旅行する」ことだし、

make a trip は、自分から作り出していく。または人に作られる旅行、  
つまり、「**仕事**で旅行をする」という意味の違いがあります。

ですので、「トモは出張でニュージーランドへ行った」であれば、

TOMO **took** a business trip to New Zealand.

ではなくて、

TOMO **made** a business trip to New Zealand.

となるわけです。

このあたりの使い方1つで誤解されないように  
注意しましょー(笑)。

## ■ journey

journey は、一言で言えば、

**陸地による目的地までの比較的、長い旅のこと**を表します。

こんな具合ですね。

I want to take a train **journey** across Europe.

あー、なるほど。休暇を利用して、ヨーロッパを電車なんかを  
使って旅行ゆっくり旅がしたいんだなー。

ということがこの一文から分かります。


イメージとしては、

「世界の車窓から」＝「あっ、journey」ねと、  
パッと瞬間的にイメージできるようであればおっけーです(笑)。

それから、もう1つ。

voyage

<http://dictionary.goo.ne.jp/search.php?MT=voyage&kind=ej&mode=0&base=1&row=0>

[vóiid͡ʒ]  MP3 WAV

ですが、これは journey に対する語で

比較的長い海の旅、または空や宇宙の旅を表します。

TOMO **took a voyage by boat** from Japan to New Zealand.

さすがに、船では行きたくないですが(苦笑)、長い船旅ということで・・・。

そういえば、アメリカの宇宙探査機が宇宙の旅というニュアンスを込めてか、Voyager っていますよね。

それから、Bon voyage! という表現を聞いたこともある人はいると思いますが、これは、フランス語で「行ってらっしゃい!」、「良い旅を!」という意味です。(英語でも通じます)

と、こんな具合で使います。

## ■ tour

tour は、もはや日本語でもお馴染みの単語の1つですが、これは色々な場所を視察、観光する組織的に計算された周遊旅行、

たとえば

ガイド付きの旅行

(a guided tour)なんかがそうですね。



人と相談してプランを決めながら行う旅、その中でも「観光」色が

強いのが、この tour です。

それから、tour に近い意味で使われるものに、

excursion がありますが、

<http://dictionary.goo.ne.jp/search.php?MT=excursion&kind=ej&mode=0&kwassist=0>

[ikské:rʒan]  WAV 

これは、

短期間の団体観光、小旅行や学校などの「遠足」のことです。

人と相談して決める大人の旅が tour で

子供の旅が excursion なんだねーと知っておけば一先ずはおつけーです。

まとめると、こんな具合ですね。



イメージと画像、経験と英語のニュアンス。

結びつけることで、確実に忘れない知識として身に付きます。

実践すればするほど、英語力が身に付いてくる。

是非、血肉としてくださいね！

それでは、次回はいろいろな「客」について、です。

自分が customer として招かれているのか、もしくは、guest として招かれているのか、はたまた client として招かれているのか……

使える英語を解説します。

お楽しみに——！！

## ■ 最後に

Don't worry about failure.

Worry about the chances you miss when you don't even try.

Gray Matter, United Technologies Corp.

「失敗を恐れる必要はない。  
恐れる必要があるのは、やりもしないで逃してしまう  
チャンスのほうである。」

これは、ユナイテッド・テクノロジー社の広告、  
スローガンのようなものだと思うのですが、

見ての通り、中学レベルの単語しか使ってないです。  
でも、ものすごく深い。

この社訓とも呼べる言葉に出会ったのは、ボクがちょうど  
意を決して渡米を決めた時期だったと思います。

今でも、机の上に貼ってある、ポストイットに書いてありますし(笑)。



何でもいいですが、

ピンと来るような表現に出会ったら、大事にしておくことを  
オススメします。

丸暗記するのであれば、そーゆーもの。格言であったり、  
心に響いたものだと、余計に覚えやすいですね。

英語表現のレパートリーが広がります。

追伸

今週末(18、19日)は、22時～ライヴチャットとスカイプ会議です。  
お楽しみにー！！

『トモネット英語塾』

塾長 中西 智裕